

## 2025 年 4 月 NEWS

- ・大阪市との協議記録が公開されています
- ・週刊エコノミストに SDGs万博市民アクションの記者会見が掲載されました。
- ・4 月 12 日「市民目線で考える「万博体験講座」(梅田で開催)申し込み受付中です

### <2/4 の大阪市との協議記録>

- ・2022 年 2 月 9 日に大阪市長が示した「2025 年日本国際博覧会環境影響評価準備書に関する市長意見」の趣旨を活かした夢洲の生きもの保全・創出を、確実に実行する事を要請する「夢洲の生きもの保全・創出に関する要望書」を 2024 年 3 月に、当協会から大阪市内に提出しておりました。
- ・この回答が、2024 年 11 月に示され、この回答に関する大阪市との協議を 2025 年 2 月 4 日に行いました。以下に大阪市内が公開している URL を示します。
- ・大阪市内は、「大阪市内環境影響評価条例に基づく市長意見は、大阪・関西万博の建設、利用、解体工事に対するものであり、万博後の夢洲の状況には及ばない」との見解を示し、大阪府の生物多様性ホットスポットであった夢洲の環境が、万博後には保障されないとの見解を示しました。今後の大阪市内の夢洲の開発計画(夢洲まちづくり)に注視して行く必要があります。

大阪市内HP 団体との協議等の実施状況一覧(環境局) →団体名:[大阪自然環境保全協会](#)  
要望書(2024.3.25、2024.3.27) [youbousho.pdf](#)  
回答書(2024.11.28) [kaitousho.pdf](#)  
協議議事録(2025.2.4) [gijiroku\\_youshi.pdf](#)

### <4/1 発刊の週刊エコノミスト記事>

- ・大阪自然環境保全協会が参加している SDGs 万博市民アクションが 2025 年 2 月 26 日に大阪市政記者クラブで、博覧会協会の SDGs に関する取り組みに関する評価についての記者会見を行いました。
- ・大阪自然環境保全協会からは「自然再生・生物多様性分科会」の立場で問題点を指摘しました。
- ・これを受けて週刊エコノミストが 4/8 号(4/1 発刊)で取り上げています。週刊エコノミスト Online の URL を示します。

週刊エコノミスト Online :[大阪・関西万博を問う:前面に SDGs を打ち出す万博協会 疑問と不安の NGO や NPO / 12 木下功](#)

### <4/12 の SDGs 万博市民アクションのイベント>

- ・大阪自然環境保全協会が参加している SDGs 万博市民アクションが「市民団体目線で考える“万博体験講座”」を開催します。
- ・大阪自然環境保全協会からは「自然再生・生物多様性分科会」の立場から担当しています。
  - ・ 2025 年 4 月 12 日(土)19 時~21 時(18 時 40 分より受付開始)
  - ・ うめだ総合生涯学習センター第 1 研修室
  - ・ 参加費無料 参加登録受付中 参加者には「SDGs万博ポケットガイドブック」進むわしくは → [市民団体目線で考える“万博体験講座”](#)